

2016年6月6日

株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
12-5 小伝馬町Y Sビル
TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報部 TEL.03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

メーカー・流通業者間の連携が加速 住宅設備・建材の国内市場を調査

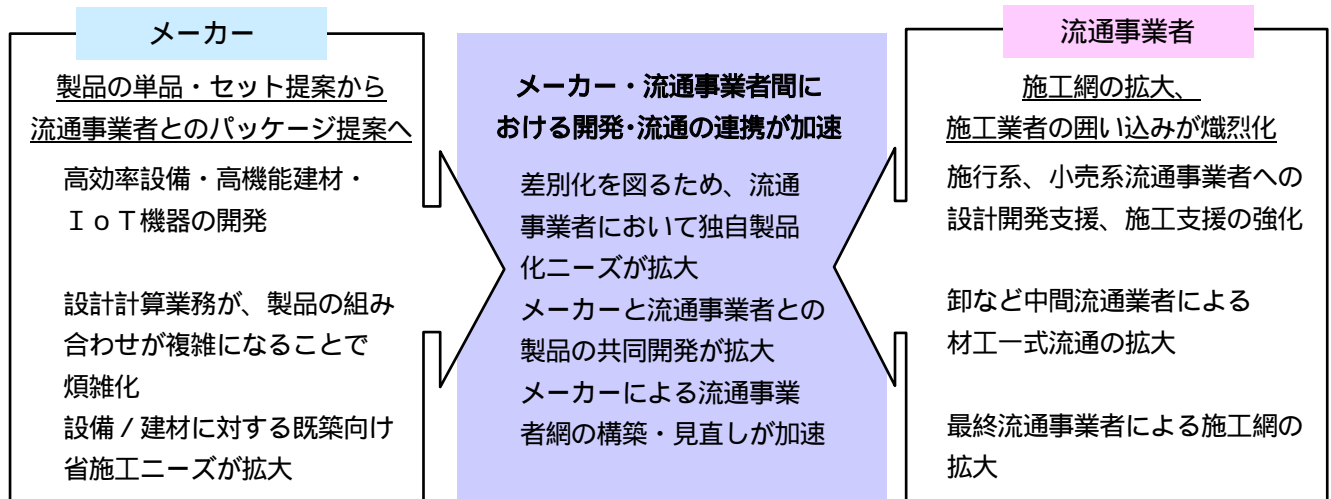
総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、高付加価値住宅の普及で拡大が期待される住宅設備・建材の国内市場について調査した。その結果を報告書「**2016年版 住設建材マーケティング便覧**」にまとめた。

この報告書では住宅設備3分野14品目、建材5分野16品目の計30品目の市場分析に加え、今後メーカーとの連携が加速していくことが予想される流通事業者について、主要13社の最新動向をまとめた。

< 調査結果の概要 >

国内の新築住宅着工戸数の低調が続く中、住宅設備・建材メーカーにとっては、既築住宅のリフォーム需要をいかに取り込んでいくかが課題となる。政策としては、生活価値の向上を図る省エネや安心・安全、健康・快適な居住空間の提供の後押しが進められており、「ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）」、「長期優良住宅」、「スマートウェルネス」に関連する高付加価値な住宅設備・建材市場が活発化するとみられる。しかし、これら高付加価値な住宅設備・建材には複雑な設計や高度な施工技術が必要であり、流通量を増やしていくにはメーカーや、卸などの中間流通業者から、工務店やホームセンターなどの最終流通業者への設計支援や施工支援、また営業支援の強化などを含めた様々なサポートが必要となる。

今後の住宅設備・建材業界におけるキーワード



住宅設備・建材市場

	2015年	2014年比
住宅設備	3兆 73億円	98.6%
建材	1兆6,718億円	99.3%
合計	4兆6,791億円	98.9%

2015年の住宅設備市場は、前年の消費税増税による駆け込みの反動の影響で、前半に伸び悩んだことから微減となった。特にリフォーム向けが伸び悩み、水廻り分野、空調/照明分野において、前年割れとなった。創エネ分野は、集合住宅向け太陽光発電システムや、ガスコージェネレーションシステムの販売が伸長したことで微増となった。

建材市場は、新築住宅着工戸数が微増したことから、一部に需要回復の傾向がみられ、市場はほぼ横ばいで推移した。リフォーム需要が堅調な内装材分野とエクステリア分野では前年比100%越えとなった。今後は既築住宅におけるリフォーム需要を喚起し、どう取り込んでいくかが課題となる。

<注目の分野>

創エネ分野 【住宅設備】

2015年	2014年比
5,692億円	100.4%

住宅用太陽光発電システムとガスコージェネレーションシステムを対象とする。

住宅用太陽光発電システムは2020年に向けて新築戸建において、省エネ改正基準法の適合義務化により、採用が増加するとみられる。パワービルダーや地場工務店の施工で搭載が進み、新築戸建向けの拡大をけん引するとみられる。一方で既築住宅向けにおいては、補助金の終了と売電価格の下落など、消費者の設置に対するマインドが低下しており、今後もこれらの要因を払拭できない限り、低調な推移が続くとみられる。集合住宅向けにおいては賃貸ビルダーによる搭載増がけん引し、拡大してきた。しかし、売電価格の下落を背景に縮小している。

ガスコージェネレーションシステムは太陽光発電システムと合わせて、ダブル発電の提案が進められており、大手ハウスメーカーを中心に、地場ビルダーの採用が拡大している。エネファームはこれまで戸建住宅の導入が主流であったが、集合住宅の導入も開始されている。さらに省サイズ化モデルが市場へ投入されたことで、今後一層普及が進むとみられる。

<注目の品目>

繊維系断熱材 【建材】

2015年	2014年比
584億円	100.7%

鉱物系のグラスウールとロックウールを対象とする。

繊維系断熱材は新築需要が9割以上を占めており、中でも戸建の割合が大きく、市場は新築住宅着工戸数の動向に大きく影響を受ける。2015年は新築住宅着工戸数が前年から微増したものの、採用割合が高い新築戸建が減少したことから、数量ベースでは微減となった。今後、新築住宅着工戸数は継続的に減少していくが、2020年の省エネ基準適合義務化に向け、より断熱機能の高い付加価値製品の採用が増加するため、市場は拡大していくとみられる。

金属系サイディング材 【建材】

2015年	2014年比
142億円	93.4%

金属系サイディング材は、表面をスチール板などで加工された金属板と断熱材(裏打材)によって構成された外壁材を対象とする。

2015年は採用の多い戸建住宅の新築住宅着工戸数が伸び悩んだことに加え、2014年の消費税増税前の様な駆け込みが無かったことから、市場は縮小した。今後、新築住宅着工戸数の減少に伴い、新築住宅向け需要が減少していく。しかし、市場の過半を占める既築住宅向けに対してメーカー各社が積極的な製品展開およびリフォーム提案を行っていくとみられ、需要増加が期待される。その結果、既築住宅向け需要が市場をけん引し、微増で推移するとみられる。

<調査対象>

<住宅設備分野>	
【水回り設備分野】	
1. キッチン	6. 食器洗浄乾燥機
2. 洗面化粧台	7. レンジフード
3. 浴室ユニット	8. 浴室暖房乾燥機
4. 温水洗浄便座 / 一体型温水洗浄便器	9. 家庭用給湯器
5. ガスコンロ / IHクッキングヒーター	
【空調 / 照明分野】	
10. 床暖房	12. ルームエアコン
11. 住宅用照明	
【創エネ分野】	
13. 住宅用太陽光発電システム	14. ガスコージェネレーションシステム
<建材分野>	
【内装材分野】	
15. フローリング材	17. 収納部材
16. 室内ドア	18. 壁クロス
【断熱分野】	
19. 繊維系断熱材	21. 複層ガラス / Low-e ガラス
20. 発泡プラスチック系断熱材	
【外部建具分野】	
22. サッシ	23. 玄関ドア
【屋根材 / 外装材関連分野】	
24. 窯業系サイディング材	26. ALC
25. 金属系サイディング材	27. 新生瓦 (薄型平板瓦)
【エクステリア分野】	
28. 門扉	30. カーポート
29. フェンス	

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2016年1月～3月

以上

資料タイトル:「**2016年版 住設建材マーケティング便覧**」

体 裁: A4判 209頁

価 格: 書籍版 150,000円+税

PDF版 150,000円+税

書籍版・PDF版セット 170,000円+税

書籍版・ネットワークパッケージ版セット ¥300,000円+税

発 行 所: 株式会社 富士経済

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル

TEL: 03-3664-5811(代) FAX: 03-3661-0165

URL: <https://www.fuji-keizai.co.jp/>

e-mail: info@fuji-keizai.co.jp

調 査・編 集: 大阪マーケティング本部 第三部

TEL: 06-6228-2020

FAX: 06-6228-2030

この情報はホームページでもご覧いただけます。

URL: <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>